

M&Aで企業買収を目指す
全ての中小企業経営者が
知るべき

M&A投資額の70%が 損金算入可能

経営資源集約化税制 オンラインセミナー

9.28(火) 13:00~14:00

参加
無料

クレジオ・パートナーズ株式会社
代表取締役 李志翔

買収後、キャッシュフローを改善する税制

>>お申込み
QRコードから



>>対象者

- ・M&Aで買収を検討する経営者
- ・CFO、経営企画・財務担当者
- ・M&Aに関わる専門家 等

こんな疑問に答えます

- ・いつ申請すればいいの？
- ・どこに申請すればいいの？
- ・何を申請すればいいの？
- ・損金算入ってどうやるの？
- ・メリット・デメリットは？

>>Seminar

1. 経営資源集約化税制の概要とポイント
2. 質疑応答

>>Profile

広島・岡山・高松育ち。
税理士・宅地建物取引士。
コンサルタント歴18年、累計実績300件超。
上場オーナー系企業・非上場オーナー企業・
IPO準備企業のM&A・事業承継・企業再編・
資本政策アドバイザー業務を行う。

M&Aのための税制 はじまる。

M&Aしても
シナジーに
時間かかるのう



A社長

M&Aはええんじやが
機械みたいに
償却取れんじやろ?



B社長

経営資源集約化税制なら
M&A投資額の7割を
損金算入できます!



※6年目以降に戻り益が発生します。
※所定の要件充足、手続きが必要です。

経営資源集約化税制

M&Aで会社を買収する際、「経営資源集約化税制」を活用するとM&A投資額の70%を損金算入できます。これにより、投資後のキャッシュフローが改善され、シナジー効果を発揮するまで時間・資金が確保できます。

承継 継続 成長

M&Aで困った時!

お気軽に
クレジオに相談

相談
無料

クレジオに任せん

サイ!



フリーダイヤル クレジオ
0120-62-9020